

安全・安心庁舎

区民の安全・安心を守るため、最先端の総合防災システムを導入するなど、防災拠点としての機能を強化します。

災害対策センター

防災危機管理課専用室及び指令情報室などで構成する、災害対策センターを配置し、平常時における防災対策の強化、防災啓発の向上等を図るとともに、災害時には即座に災害対策本部室に転用します。

区民の安全・安心を守るため、迅速に対応できる設備・機能を備え、災害対策の司令塔としての役割を果たします。



▲災害対策本部イメージ



▲平常時の会議室イメージ

災害に強い新庁舎

免震装置や100年以上の耐久性を持つ超高強度コンクリートを導入し、関東大震災や東日本大震災級の大地震にも十分耐える設計です。

また、災害時、庁舎が災害対策本部として機能するよう、最低でも3日間対応できる非常用発電設備や耐震性の高いエレベーターが設置されています。



▲免震装置に組み込まれた積層ゴム支承

総合防災システム



新庁舎では最新鋭の総合防災システムを導入します。総合防災システムは、災害情報の収集、管理、配信の3つの機能が連携するシステムです。

豊島区内に51台のビデオカメラを設置

救援センターや主要駅など、区内に51台の防災カメラを設置し、災害発生時の被災状況、帰宅困難者の滞留状況などを即座に確認し、迅速な初動対応などの意思決定を行います。



世界初の群衆行動解析システム

主要駅及び主要道路周辺に設置する防災カメラは、混雑状況を把握するとともに、異常を自動検知し、災害対策本部へ通知します。

